

# 学校運営協議会だより

令和4年10月24日発行 第2号 発行元：伊達市立大滝徳舜警学校

令和4年10月20日（木）に、大滝徳舜警学校会議室にて、委員6名、事務局員2名の参加の下、今年度第2回学校運営協議会を開催しました。大滝徳舜警学校の前期の教育活動の紹介や全国学力・学習状況調査の結果分析の報告、次年度の学校体制についてなど、質疑、意見交流がなされました。

主な報告・協議の内容は以下の通りです。

## 1 前期の教育活動について

まず、前期の教育活動について時系列でスライドを使いながら説明がありました。教育活動が少しずつではあるがコロナ禍前のように戻りつつあること、また、地域の方々に教育活動や学校行事に参加していただけるようになってきたことが紹介されました。

学校運営協議会委員の橋本様や山城様にご協力いただいている農園活動の充実、本校の特色ある教育活動の一つである英語教育に関わるイングリッシュ・デイズの取組、地域の方に少しずつではあるが、参加していただけるようになった連合大運動会と学校祭の様子などを写真で見てください、子供たちの様子を知っていただきました。

## 2 全国学力・学習状況調査の結果について

4月に行われた全国学力・学習状況調査の前期課程と後期課程のそれぞれの結果について、説明がありました。前期課程については、各教科において正答率が全国平均と同程度もしくは上回っているが、書くことに課題があり授業改善を進めていくこと、後期課程についても、正答率が全国平均より上回っているが、数学の四則計算の定着に課題が見られることが話されました。

## 3 意見交流

学校長より、次年度の学校体制について説明がありました。

児童生徒数の減少により教職員数の配置が減ることによって、これまでのような教育活動を一定の水準で維持していくことが難しい状況にあることや地域の方々の支援や協力がより一層必要になってくること、また、学校としても見直せるものは見直していく必要があることなどが話されました。

この話を受けて

1 大滝でどんな子を育てたいか

2 働き方改革

について、意見交流がされました。

1については、

- ・オリンピック選手やスポーツのスーパースターになるような子
  - ・たくましい子
  - ・地元企業へ就職し地元還元できる子
  - ・楽しみを見つけられる子
- などがあげられました。

2については、

- ・受験を控えている子どもたちのことを考えると大手の予備校のように、サテライト授業を行うとよいのではないかと
  - ・自分で何が手助けできるかわからないが、声をかけていただければお手伝いできます。
  - ・地域の食(アロニア、蜂蜜)をテーマに体験を大事にした学びを提供していきたい。
  - ・地元企業を活用した体験学習を行う。
  - ・学校便りについては、郵送で対応してもよいのではないかと。
  - ・学校農園を子どもたちの数に合わせた規模にしていってはどうかと。
- などの意見が出されました。